

高野山へ参拝します

今年も昨年に続き、京都と高野山に参拝します。近年近親者を亡くされた方はお参りされることをお勧めします。

五月十四日(木)

十五日(金)

(一泊二日)

一日目 智積院・長谷寺

二日目 高野山内の巡拝

宿泊 龍泉院(高野山)

人数 十名程度

会費 三万九千円程度

少人数の場合はジャンボタクシーの予定です。

四国巡拝は四月十六日

八日です。参加者には集合場所とメンバー表を四月八日前後にお配りします。メンバー表が届かない方や参加ご希望の方は四月十日(水)までにご連絡をお願いします。

真言宗の基礎知識(その四十九)

(弘法大師御入定の後 その三)

弘法大師が中国から持ち帰った真言密教は時代の流れの中で次第に大きな影響を日本の治世者に及ぼしました。

天台宗もその勢いに逆らえず、最澄さまも自らがお大師さまの弟子となつて、密教の研究を進めていきました。この天台宗の密教を台密(たいみつ)と呼び、真言宗の東寺を中心とする密教を東密と呼ぶようになりました。

天台宗の最澄さまが没した後、天台宗はお大師さまの活躍や密教の興隆の陰に次第に隠れてしまいます。やはり、真言宗にくらべれば天台宗の密教は研究だけでなく、実践面でも遅れてしまったようです。最澄さまのお考えは、天台宗は法華と密教と座禅と戒律の一致であり、密教をことさらに重要視することはありませんでした。しかし、密教に対する人々の関心には抗しがたく、天台宗の後継者たちは弘法大師の歩いた道を踏襲すべく、中国に渡り密教の勉強をすることでした。

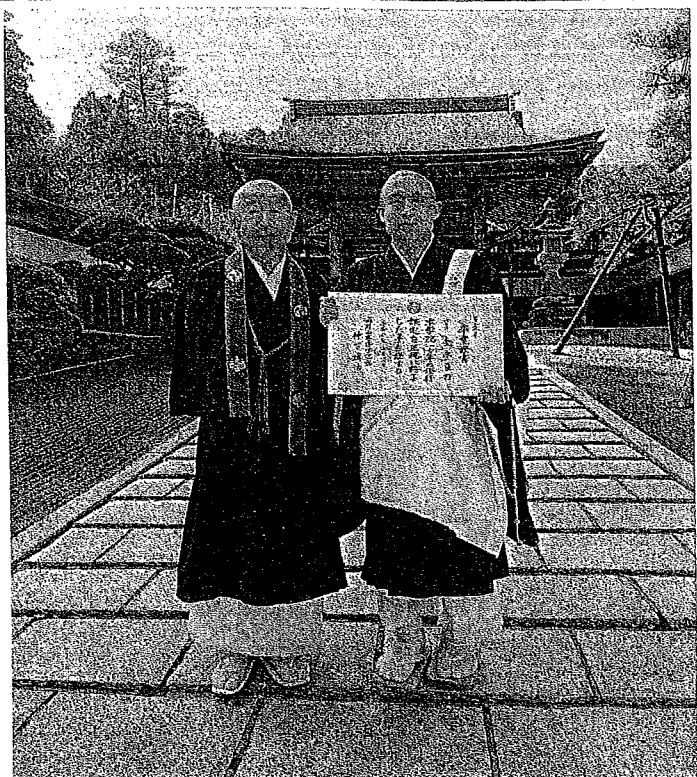
奉仕作業があります

四月二十一日(日曜日)

午前九時前に集合をして、上之坊本堂横の多宝塔からユギ塔に至る厄除け参道の周辺と奥の院周りの整備を実施したいと存じます。

また当日はユギ塔周囲の整備も考えております。予定時間は一時間半ほどですが、鎌やほうき・電気ノコギリなどの道具をお持ちの方は持参をお願いいたします。

なお、雨天の場合は中止といたします。この作業はどなたでもご参加いただけますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和6年3月16日 専修学院山門前にて

上之坊だより

令和6年4月5日
第101号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168

弘法大師聖語抄

書を読んで但だ名と財とにす

「本を読み、勉強を重ねても、目的が出世して名声を得る為や、お金儲けの為だけであつたら、いくら勉強をしてもその意義は低い」とお大師さまは説かれています。

私たちは小学校から中学・高校と勉強をし、成人した後

も本を読んだり、仕事を通して学んでいます。また、年を取つても、人の話を聞いたりテレビや本を観て知識は増えていきます。

しかし、いくら知識を増やしても自分の為だけに使っていたのではいけません。それは昔からの知恵の伝承であり、自分が学んできたことをどれだけ後世に伝えることが出来るかがとても大切な事であるからです。

そして、自分が学んだことを人に話し、あるいは書くことによつて、持っている知識は整理され、より深まってくと思えます。

総代・世話方会のご案内

上之坊の臨時総代・世話方会を四月二十一日午前十一時から開催いたします。ご案内状は総代様より八日頃にお配りをいたしますので総代・世話方の皆様はご出席をお願いいたします。ご欠席の場合は電話にてご連絡をお願いします。



専修学院にて卒業証書を受け、門主さまにお礼を申し上げる

良行 専修学院を卒業する...

後任住職予定の良行が高野山での修行を無事修了しました。今春、帰郷をしてお寺を手伝ってもらえると期待をしていたのですが、同期生に誘われてもう二年間高野山で勉強をしたいと希望してきました。

昨年春に高野山専修学院に入学した当初の間は厳しい決まりで大変しんどかったようでしたが、だんだんと厳しさの中に「やりがい」を見つけていることが出来たようです。

このような成長が出来たのも、高野山の特別な環境と、全国から集まった同期生同志が助け合い、励まし合ったお陰と思ひ、二年の期限付きで様々なが認めらることにいたしました。

四月からは同じ専修学院の中であっても給料を頂き、新入生をお世話する立場となります。いままで習ってきたことが間違いないか確認をし、伝える事になります。

今までの修行とは違う人生経験が積めるのではないかと思います。

上之坊 住職交代 晋山式(令和八年十一月七日)執行

上之坊住職の交代は令和八年となつていましたが、三月二十三日に開催された総代会で晋山式(住職に就任するとご本尊および檀徒の方にご報告をする式)を同年十一月七日に行うことが決定しました。また、これに併せて、寺内の整備を行うことも決まり、会計係の人選を行いました。

昨年一月の総代・世話方会で、整備の為の建設委員を設けて審議を重ねてまいりました。昨年十一月の総代会で

上之坊だより

お寺の門前の畑を農地転用をして駐車場場およびお寺の行事に使用できるようにしてゆくことが決まり、今年一月の総代・世話方会で広島よりお寺の事業コンサルタントの米村氏をお招きし、今後の問題点の検討をいたしました。この結果、農地を埋め立て一部をお寺専用の駐車場にする事。参道の芝生を石畳にする事。山にある観音様をまとも寺前に安置をする事。南の塀を伸ば

し、東端から北に伸ばす事。その中に庭儀護摩(柴燈護摩)が焚ける場所を設置する事となりました。

そして、先月三月二十四日の臨時総代会では、設計を担当した大森工務店の大森裕之氏より設計の詳細を伺い、石畳の施工については三社から見積りを提出いただき、見積金額の一番廉価な「石のオカダ」を第一番の指名業者として、交渉を進めることになりました。

また、今後の工程についてもご説明いただき、五月より着工前の段取り作業を進め、埋め立てについては十月の完成を予定することになりました。

今後は四月二十一日午前十一時から臨時の総代・世話方会を開催し、ご寄付をお願いすることや全体の計画をさらに進めることを話し合うことになりました。

なお、晋山式の詳細については今後

検討をしておりますが、稚児行列なども予定したいと存じます。

このほかにも奥の院やユギ塔周辺のさらなる整備や、お寺の北側の土地の有効な活用方法が見つかれば購入も検討したいと思っております。

総代様の交代について

長年総代をお務めであった引野町の高橋勉氏、曙町の徳永清氏、幕山台の枝廣幸昌氏が今年一月でご退任されています。長い間大変お世話になりました。後任には幕山では、清水金三氏が就任されています。